



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2013年7.8月合併号 No.336

小鳥の森で観察してみよう 25

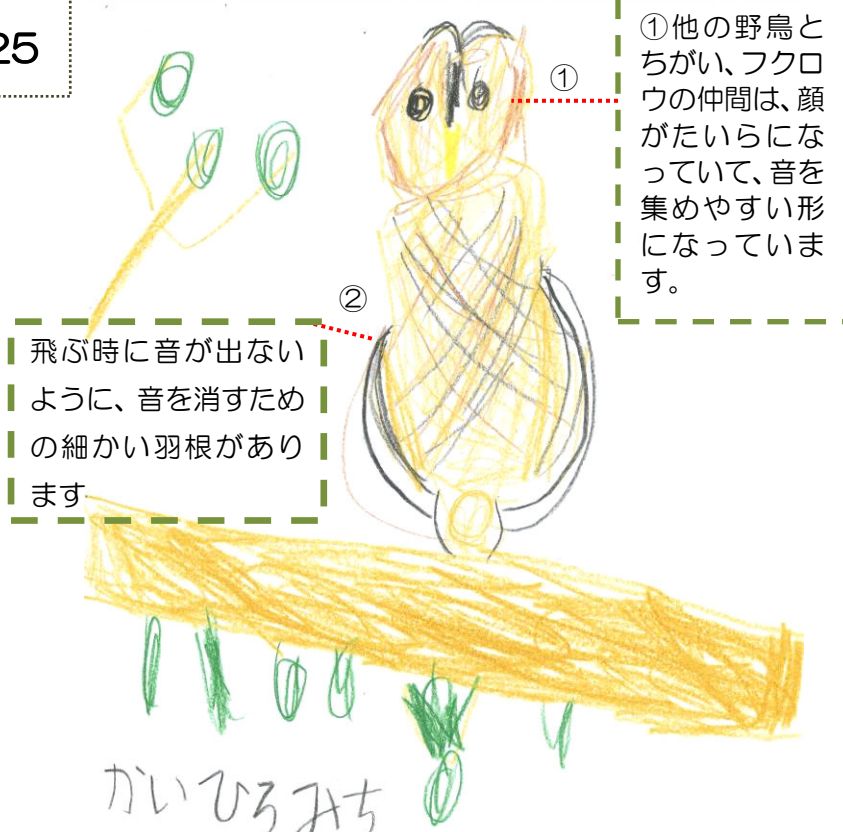
フクロウ

分類：フクロウ科

大きさ：約50cm

生態：一年を通して同じ場所で生活をする留鳥（りゅうちょう）です。夜に活動しています。低い土地から山地の林を好みます。

小鳥の森での観察：
園内で夜、鳴いている声を聞きます。



①他の野鳥とちがひ、フクロウの仲間は、顔がたいらになつていて、音を集めやすい形になつています。

②飛ぶ時に音が出ないように、音を消すための細かい羽根があります

今回のイラストは、かいひろみちさん（小2）が描いてくれました。



7. 8月の自然予報



セミの合唱で小鳥の森はにぎやかになります

小鳥の森で、色々なセミに出会える季節がやってきます。園内では、ニイニイゼミ、ヒグラシ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、エソゼミ、ツクツクボウシ、チツゼミなどが生活しています。6月25日に、セミの中では初めに現れるニイニイゼミの声を確認しました。セミを多く観察出来る7、8月は、「ジジジジ・・・」と鳴くアブラゼミ、「カナカナカナ・・・」と鳴くヒグラシなど色々なセミの声が聞こえてきます。今年の夏はどのようなセミの大合唱を聞かせてくれるでしょうか。



ニイニイゼミ



ヒグラシ

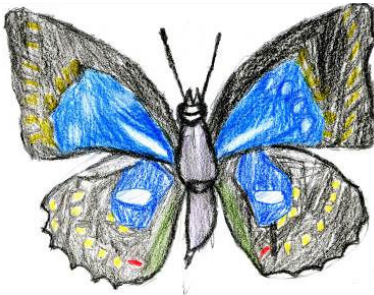


アブラゼミ



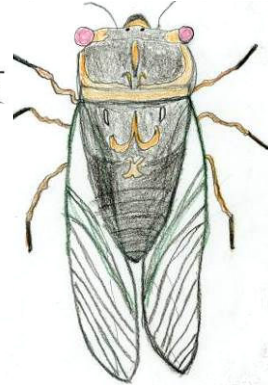
ミンミンゼミ

ぼくたちが小鳥の森の昆虫を紹介します



佐藤 翔太

オオムラサキ
タテハチョウ科
体長・・・45～60mm
とくさ・・・クヌギやヤナギの木樹液
に集まります。
日本の国蝶に指定さ
れています。
エカ虫はエノキ、エゾギ
などを食べています。
あがねるじき・・・6～8月



エゾセシ

セシ科
体長 オス 39～44mm
メス 38～41mm
分布 北海道、本州、四国、
九州、朝鮮半島
生息地
マツ林、ヤスギ、ヒノキ林
出現期
7月下旬～9月上旬
鳥き声
ギーと連続音で、
最後の音は時々とぎれながら
続く。
生態
幹に下向きに止まって鳴く。
卵で越冬する



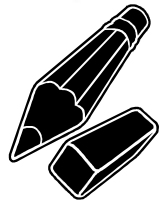
ミヤマクワガタ

佐藤 純太

大あごが二つに分かれる
頭部の後ろが左右に張り出す
全身が小さなものでおられる

体長
オス=43～76mm
メス=25～40mm
出現期
6～9月(7～8に多い)
幼虫の食樹
クヌギ、コナラ、ミズナラ

斎藤 太一



6/25 から 6/28 まで「中学生ドリームアップ事業職場体験」で来ていた、渡利中学校2年生（佐藤純太さん、斎藤太一さん、佐藤翔太さん）が記事をかいてくれました。

6月の自然

小鳥の森でみい～つけた⑦

センター周辺でキビタキの子育ての姿を確認する事ができました。木のすきまを使って育ったヒナは、6月8日の夕方に巣立ち、道を歩いていました。キビタキのヒナは巣立ってすぐにはしっかり飛ぶことができません。ピョンピョンとはねて歩き、道の上で親からエサをもらっていました。親鳥からエサをもらっていました

ヒナは、秋までに自分でエサとりや東南アジアへ飛ぶ力をつけなくてははいけません。森でしっかりとエサを食べて、元気に育ててもらえればと思います。



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

※小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f.kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信[しじゅうから] 2013年7, 8月合併号No.336/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま